

術前後/切除不能/再発

CDDP+TS-1療法レジメン

術前/術後/切除不能/再発 シスプラチン+TS-1療法レジメン

LC-14

総コース数

<21・28 日間隔 1コース～ 6コース>

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6～14日目	第15日目	第16～21日目	第22日目
治療内容								第15日目	第16～21日目	第22日目
								第15日目	第16～28日目	第29日目
検査	採血	○								○
診療	副作用の問診	○								○
	検査結果	○								○
治療中止基準	①WBC<3000 or Neu.<1500 ②血小板<100000 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	—								—
	TS-1初回基準量 80mg/m ² /day 分2 【2週投与し、1～2週休薬】	↓ 夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝食後	休	↓ 朝・夕食後
点滴	①KN1号 500ml +アロカリス 235mg 1V +パロノセトロン 0.75mg 1V +デキサート 3.3mg 3A	↓								↓
	②KN1号 500ml +硫酸マグネシウム 8ml +アスパラK 1A 点滴静注【1時間】	↓								↓
	③KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓								↓
	④マンニトールS 300ml 点滴静注【30分】	↓								↓
	⑤生理食塩液 500ml +シスプラチン注 60mg/m ² 点滴静注【1時間】	↓								↓
	⑥KN1号 500ml +アスパラK 1A 点滴静注【1時間】	↓								↓
	⑦KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓								↓
ポストメ ディケー ション	デカドロン錠(0.5)16錠 分2朝昼食後		↓	↓	↓					

と。シスプラチン投与3日目までは飲水摂取を指導すること。

通常

化学療法単独：21日間隔

化学放射線療法：28日間隔

看護のPoint!!

TS-1で口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告（TS-1との相互作用あり）

TS-1は休薬期間を設けること。

骨髄抑制の副作用に注意。

シスプラチンによる腎障害予防のため、3日目までは飲水摂取と利尿を確保する。

マグネシウムとカリウムは腎障害予防のための薬